

区民不在

総合支所職員を大量削減、
ビル賃借に税金25億円

区長の暴挙に反対! 区民本位の改革を!

福祉系、まちづくり系など
支所職員を44%
本庁に一斉引き上げ本庁は受け入れ余裕なし
民間ビル賃借に
向こう5年で25億円支出区民には
説明なし
職員アンケートのみ"緊急性あり"として
補正予算で提出
撤回要求にも応じず
可決へ

支所職員の44%を一斉引き上げ

- それでも「詳細は今後検討」・「サービスは向上」という無責任

	支所職員数*	本庁に引き上げる職員数
麻 布	82人	40人
赤 坂	68人	32人
高 輪	83人	42人
芝浦港南	82人	40人
芝	118人	38人
合 計	433人	192人

※支所長を含む、保育園、児童館などの施設勤務者を除く

清家区長は定例会で、「今回の改革は職員体制の最適化や業務効率化を進めるなど、内部のマネジメントを中心とした取組であり、総合支所の窓口における区民サービスの基本的な仕組みに大きな変更はない。今後、分庁舎の必要性と併せて、区民に対し、情報提供を行う」と答弁しました。

しかしながら、半数近くの職員を支所から減らすにもかかわらず、本件は区民への事前説明や

意見聴取を前提としない、まさに「区民不在の改革」に多額の税金を費やすものです。全体像も示されておらず、あまりにも拙速すぎます。

当初は「区民アンケートは実施していない」と言っていたにもかかわらず、区民に意見を聞いていないと抗議されてから、「やっていました」とアンケートを後出し。理由は「報告を忘れていた」。しかも内容は「現状サービスへの満足が8割以上」で、改革の根拠にはならないものでした。

この改革案の問題については、朝日新聞・都政新報でも報道され、区議会から疑問や懸念の声が上がっていることが紹介されました。

このような区長の進め方に対し、自民党議員団は、区民と議会への十分な説明と議論を尽くすべきであるとして撤回を要求→撤回拒否→議案に反対するも、賛成18、反対12の賛成多数により可決されました。

区民無視の25億円説明はすべて後回し 問われる港区行政

	議決前	議決後
区 民	事前に区民に説明なし	未定
議 会	骨子のみ特別委員会で説明 緊急性を理由に補正予算で提案	「議決後に各常任委員会へ説明予定」と答弁
職 員	職員アンケートのみ実施	説明会はこれから実施と答弁
関係団体*	事前に説明なし	未定

※関係団体とは:障害者団体、民生児童委員会、老人クラブ、各地区町会自治会連合会

拙速すぎる改革 ～災害時など多分野に影響大～	
改革の内容	想定される影響
災害時に「災害対策地区本部」となる支所の管理課を廃止	現場の司令塔が不在
被害確認・危険箇所の判断 担うまちづくり課を廃止し、職員を大幅に削減	被害状況の把握ができない
司令塔不在+被害把握不能	初動対応・避難誘導・応急対応が遅れ、区民の負担と命に関わる懸念
この重大な問題について、議案提出時に検討すらされていませんでした。	

今回の改革案の疑問

- Q. 支所の職員が半減するって聞いたけど本当? A. はい、本当です。半数近くの職員が本庁に戻っていきます。
- Q. 支所の区役所サービスは低下しないと聞いたけど… A. 区長はそのように説明しています。支所の職員は約半分になるのに、そのように言い切れる根拠は一切示されていません。
- Q. そもそも、そんな話を初めて聞きました。 A. 私たちの身近な支所に関わる大事な話なのに、区民への説明は一切なく、港区は議会に補正予算案を提案するという暴挙に出ました。
- Q. 支所から職員がいなくなつた後、空いたスペースはどうなるの? A. 現時点では何も決まっていません。
- Q. 税金投入し民間ビルを借りるのですか? A. はい。支所からの職員が戻る場所がないので、民間の新築ビルを借ります。向こう5年間で25億円以上の税金が投入されます。
- Q. 民間ビルを借りないといけないの? A. 我々は借りる必要はないと考えています。旧三田図書館など、区が保有している建物で活用しきれていない場所を優先的に使用すべきと考えています。

私たちの抗議文・区からの回答・
本会議での反対討論の全文は、港区自民党議員団のホームページに
掲載しています。



議会ホームページでは、私たちの反対討論と、賛成する会派の討論も併せてご覧いただけます。

反対討論の開始時刻は、動画「15分52秒」あたりからです。
ぜひ、区民の皆さまの目でご確認ください。
区民の皆さまのご意見をお待ちしております。

今定例会で問題となった下記の内容につきましては、令和8年1月発行の港区自民党議員団ニュースで取り上げます。

港区幼児教育に重大事態

清家区長宛 港区私立幼稚園連合会が“異例の抗議文”提出

公約はどこへ?

清家区長の主要公約、深刻な停滞

実行して実現する政治。それが私たちの役割です。

高市総理のもと、国と東京都と港区が確かな連携を進めています。
そのつながりを、区民の暮らしに確実に届けていきます。



港区議会自民党議員団の実績

まちづくり

六本木ロクサン広場の誕生

六本木の環境改善を継続して提言し、誰もが立ち寄れるロクサン広場の開設を実現しました。安心して過ごせる公共空間をつくり、地域のぎわいと快適性を高めるまちづくりを前進させました。



渋谷駅行「三光坂下」バス停の遅延解消に向けて

渋谷駅行「三光坂下」バス停は、昨年の4月頃から朝の通勤・通学時間帯に遅延が生じるようになったため、その様子を動画に撮影し区役所に対応を求めるました。同年9月にダイヤの改定が行われ改善が図られました。



赤坂三通り道路整備

赤坂を代表する一つ木通り、みすじ通り、田町通り(赤坂エスプラナード通り)の三通りが老朽化し地元から整備を求める声を頂きました。区に働きかけを行い、大規模道路整備を行うことになりました。来年度までは下水道などの工事、再来年度からは路面工事着手となります。

都営芝公園駅のエスカレーター設置

長らくの懸案事項であった都営芝公園駅A1出口の通勤時の混雑解消と利便性の向上の為に東京都、港区と交渉。バリアフリー化の実現に時間がかかりましたが、住友不動産のビル開発に伴い協力を頂き、敷地内に設置を実現。



レインボーパークのリニューアル

区民の要望を実現しました。会派として・レインボーパークに水遊び用噴水・高齢者向けトレーニングマシン・日除パーゴラのリニューアルの新設工事を提案し、R8年完成予定となりました。



子育て

「あっぴい高輪・あっぴいパーク高輪」の開設に尽力！

「高輪さつき保育園」の開設に続き、白金高輪駅近くの自動車部品会館からの相談を区に繋ぎ、子育て支援に尽力しました。特に、一時預かり施設の相談をきっかけに、令和7年7月より室内子育てひろば「あっぴい高輪・あっぴいパーク高輪」が同会館に開設されることになりました。

休日保育の申請を改善

公立保育園の休日保育申請は手続きが煩雑で、利用者・在籍園ともに大きな負担となっていました。こうした非効率を解消し利便性と実施園との情報共有を高めるため、提出先の見直しと書類の簡素化を今年度中に実施します。



御田小学校三光キャンパス通学環境の整備

都営バスの増便、誘導員の追加配置、車道上の「止まれ」マークの追加また民地樹木の伐採要請による視界確保等、通学環境向上に資する整備が実施されました。御田小学校新校舎は令和11年1月運用開始に向け順調に工事が進捗しています。



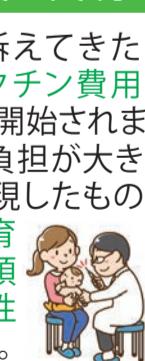
子ども・子育て世帯への経済支援を実現

物価高が続く中、子育て家庭への経済的支援は欠かせません。われわれは議会で訴え続け、前区長時代には「子育て応援商品券」を実現。現区長は実施しない方針でしたが必要性を重ねて求め、今年度はみなトクPAYの3万円分ポイント付与が実現しました。



子どもの健康推進と保育環境の充実を実現

議会で必要性を訴えてきた「おたふくかぜワクチン費用助成」が今年7月に開始されました。任意接種で負担が大きいとの声を受け実現したものです。また病児保育や休日保育、一時預かりの充実や利便性向上も実現しました。



高齢者支援

特別養護老人ホーム「青山スクウェア」開設

港区に特養「青山スクウェア」と認知症グループホームが開設。専門的なケアと身近な相談体制が整い、高齢者とその家族、特に親の介護を考える子育て世代の大きな安心に。誰もが暮らしやすい地域づくりを進めます。

高齢者の方の身元保証を実現

高齢者の方から施設に入る際などの身元保証人に困っているとの声を多数いただき参りました。他区などの先行事例を区に紹介し、会派で働きかけを行ったところ、来年度から港区社会福祉協議会で身元保証サービスを開始することになりました。



終活支援の充実を実現

港区に終活の重要性を訴え、区民が自分らしい最期を迎えるための『エンディングノート』事業を実現しました。

防災・暮らし

区内ホテルを二次避難所に

災害時に二次避難所として区民が利用出来るように区内のホテルをまわり、殆どのホテルから利用の了解を得ています。公立学校での避難の後に区内のホテルへ避難出来るようになります。

ペット同室避難へネットワーク構築

避難所では受入れ難いペットについて、飼い主がペットと同室避難出来るように港区ペット防災ネットワークを立ち上げました。東海大学品川キャンパスやinumo芝公園にも協力して頂きます。



あきる野の自然を活かした環境学習がさらに充実

「みと区民の森」(あきる野市)で、間伐、植樹、農業体験などの環境学習が前進。都心では得られない豊かな自然体験を通じ、子どもたちの環境意識を高め、日常の行動変容を促す学びの場を今後も拡充します。

東京湾大華火祭の開催

東京2020大会に伴う選手村建設により休止されていた東京湾大華火祭が、ともに令和8年度に区政80周年を迎える港区と中央区の共催で10月24日(土)に開催されることになりました。

